

2017-2018 ガバナー月信

# GOVERNOR'S Monthly Letter 5

## 函館最初物語



現在の市立函館病院

### 【市立函館病院】

市立函館病院は、万延元年(1860年)「箱館医学所」として創立された北海道初の官立病院が原点。150年余の歴史と伝統を有する南北海道の基幹病院で、「函病(かんびょう)」の愛称で市民に親しまれる地域医療の中核拠点である。平成12年(2000年)に現在地(函館市港町)へ移転。



ROTARY:  
MAKING A  
DIFFERENCE

ロータリー：変化をもたらす

国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度ガバナー 国立金助

〒060-0042 北海道札幌市中央区大通西11丁目4 大通藤井ビル7F TEL(011) 207-2510 FAX(011) 207-2512

E-mail: rid2510@nifty.com <http://rid2510.org>

2017-2018年度国際ロータリーのテーマ

# 「ロータリー：変化をもたらす」



## 国際ロータリー第2510地区 2017-2018年度地区目標

### 1. 世界ポリオデーの支援

あと少しで我々ロータリアンは「ポリオ撲滅達成」という歴史的瞬間に立ち会おうと  
しています。

### 2. 地区委員会と各クラブの連携強化

地区委員会には、クラブ支援をする大切な役割があります。  
地区への相談窓口「クラブ管理運営委員会」を設置。

### 3. 取り戻そう「ロータリーの心」

そして伝えよう「次世代を担う青少年へ」。

ロータリーの「人の役に立とう」と言うサービス精神は、112年経った今も健在です

## CONTENTS

●ガバナーメッセージ..... 1	●米山奨学生のご紹介.....10
●2018-2019年度地区研修・協議会報告..... 2	●新会員のご紹介／訃報.....11
●温故知新「心を知る」..... 3	●米山記念奨学会寄付・ロータリー財団寄付.....11
●米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション、2018-2019年度米山記念奨学生歓迎会 ... 4	●ハイライトよねやま.....12
●千歳RC創立50周年記念式典・祝賀会..... 5	●ロータリーコーディネーターNEWS.....13
●第10・11グループIM報告..... 6	●地区カレンダー5月・6月.....14
●第3グループIM報告..... 7	●出席率・会員数.....15
●第2グループIM報告..... 8	●トロント国際大会案内.....16
●地区クラブ支援委員会..... 9	●文庫通信.....17
●再考、職業奉仕.....10	



## 台湾第3490地区 地区大会へ参加して

国際ロータリー第2510地区

2017-2018年度ガバナー **国立金助**

(函館RC)

4月12日～16日、台湾第3490地区大会へ、羽部大仁PG、嵯峨義輝PG、そして私を含む函館RCの会員11名で参加してまいりました。(但し羽部PG、嵯峨PG、そして私は小山年度の地区研修・協議会へ出席するため、途中で帰国致しました)。今回の目的は、第2510地区へRI会長代理として来ていただいた第3490地区PGの姚啟甲様へのお礼と、より一層の友情の絆を強くするためにございます。

第3490地区大会式典にて、台湾東部花蓮県沖地震に対する第2510地区の心あたたまる義援金に対し、改めて感謝の言葉と感謝状をいただいております。第2510地区64クラブ、そしてロータリアンの皆様に心より感謝申し上げます。

本年度イアン・ライズリーRI会長は、全世界120万人のロータリアンに対し、120万本の植樹を呼び掛けました。これに対し、当地区では、3つの方法で2,600本の植樹を実施しました。  
①クラブ独自で実施……30クラブ 約500本  
②地区とクラブと共同で実施……37クラブ 青少年とロータリアンの協力のもと1,500本  
③タイ国ノンカイ県にて地区国際奉仕・VTT委員会の協力で、タイの小学校25校協力のもと600本

お陰様にて2,600本の植樹を無事終わりました(一部、5月・6月実施クラブを含め)。心よりロータリアンの皆様へ感謝申し上げます。

また「北海道・夢の大地」にて大きな夢のある事業を紹介いたします。千歳RCが実施継続している「千歳ロータリーの森林(もり)」事業を紹介いたします(これは千歳RC創立50周年記念式典＝4月21日＝に参加させて戴き知りました)。この事業は創立25年の記念事業として北海道森林管理局から当クラブ会員による分収造林組合が2,811haを80年契約(1991年～2070年)にて借りた土地へ赤蝦夷松7,300本を植栽し、53年後に約1千万円を見込む収入を地域での社会奉仕に活用してもらおう夢のある計画です。とても素晴らしい事業で感激致しました。

今回はライラ(RYLA)セミナー2018の開催案内

- ・日 時 5月26日(土)・27日(日)
- ・場 所 グリーンピア大沼  
(茅部郡森町赤井川229)

- ・対 象 20歳～30歳の男女
- ・テーマ 「北海道150年!北海道の未来を創るのは君だ!～これからのリーダーに求められるもの～」

このセミナーは、地区内の若い人々とロータリアンが参加する地区プロジェクトであり、若い人々の指導者及び善良な市民としての資質を伸ばすことを目的としています。

### 最後に一言

リーダーたる者は、常に物事の本質を見据えていることが大切であると同時に、いつも他者に対する「思いやり」を忘れてはならないと思います。

花は散るから美しい、人も死ぬから尊いのであります。桜の花も、一年中咲いていたら、良いとは言えません。桜の花は一週間ほどの命、それも、人に見て貰おうと思って咲いているわけではありませぬ。精一杯咲いて散っていく。だから美しいのです。人も死ぬから尊いのであります。世間に認められても、認められなくてもよい、散っていくところに人の良さがあると思います。



●第2510地区に対する台湾東部花蓮県沖地震義援金への感謝状



## 2018—2019年度地区研修・協議会報告

国際ロータリー第2510地区

次期地区代表幹事 **久保田 俊 昭**

(札幌RC)

4月15日(日)、午前10時から、札幌市(札幌パークホテル)に於いて地区研修・協議会が開催されました。

午前中の全体会議では、小山ガバナーエレクトの点鐘、宇野義昭札幌手稲RC会長の歓迎の言葉に続いて、国立ガバナーよりご挨拶を頂きました。

また、当日の基調講演として、小山ガバナーエレクトから、「RIのテーマ、RIの目標並びに地区目標」について、また研修リーダーの熊澤PGからは、転換期を迎えている昨今、RCの原点に立ち返って、「クラブ奉仕」に注視し、例会運営に工夫を凝らして魅力溢れるものとするよう、クラブ・リーダーの心構えについてご講話を頂きました。

午後からは、七つの分科会(会長、幹事、クラブ奉仕、職業奉仕、社会奉仕、国際奉仕、青少年奉仕)に分かれて、2時間にわたって研修が行われました。

分科会終了後は、再び一堂に会して全体会議が行われ、五大奉仕部門のリーダーから分科会報告が行われ、国立ガバナーによる所感、小山ガバナーエレクトの謝辞を頂き、予定の時間内で終えることができました。

本研修を終えられたクラブ・リーダーの皆様にとっては、次年度の活動計画を定める上で、指導者として果たさねばならない役割と責務を認識されて、大いに参考になったと思われます。

なお、今回の研修・協議会の開催にあたりまして、札幌手稲RCにホスト役をお引き受け頂きましたが、万全の体制で臨んで頂き、スムーズな運営を執り行うことができました。

また、分科会のリーダーやサブリーダーには地区委員会の方々にご就任頂き、さらにパストガバナーの皆様にお忙しい中にも拘らずご出席を頂き、

アドバイザーとして適切なご指導を賜りました。ここに改めまして厚く御礼申し上げます。

最後になりましたが、本研修・協議会の前日14日(土)、午後3時からパークホテルにおいて、「地区研修・協議会事前打合せ会」が持たれたことを付記させていただきます。

### 【付 記】

#### ○RI会長テーマ

「インスピレーションになろう」

#### ○RIロータリーの目標

##### ・優先項目1

「クラブのサポートと強化」に関する目標

##### ・優先項目2

「人道的奉仕の重点化と増加」に関する目標

##### ・優先項目3

「公共的イメージと認知度の向上」に関する目標

#### ○第2510地区目標

##### 1. 組織を活性化しよう

①会員の維持、増加の推進

②女性会員の増強

③クラブ役員、地区委員への若手登用推進

##### 2. ロータリーの認識・理解を深めよう

①会員研修の充実・強化

②クラブ相互間、グループ相互間のコミュニケーションの活発化

③ガバナー月信の内容樹実、電子化の推進

##### 3. 地域社会との関わり合いを深めよう

①人道的奉仕活動の推進

②青少年活動の支援・強化、地域社会との連携

③広聴活動推進





## 温故知新「心を知る」

地区職業奉仕・基本理念委員会

委員長 玉井 清 治

(函館亀田RC)

### <真の喝采>

江戸時代、寛保の頃、山下京右衛門という、京都ではかなり知られた俳優でした。ある時、当時売り出しの女形沢村四郎五郎を相手役として演じた。京右衛門の評判は圧倒的に高かったが、四郎五郎の方は、あまり人気がなかった。ところが、その芝居を、そのころ一代の名優といわれた二代目坂田藤十郎が見物にきたので、京右衛門は敬意を表して挨拶にでて、「芸の未熟者ゆえ、どうぞ御批判を……」と頼んだ。すると藤十郎は、ほめてくれるかと思いのほか、「まったく下手だね」と言った。さっさと帰ってしまった。京右衛門はムッとしたが、相手が名優なので、思い直して、演技に一層の工夫をこらし見物の受けは益々よくなる一方だった。

それで京右衛門は、もう大丈夫だろうと思ひ、辞を低くして頼んで見てもらったところが、藤十郎は、やはり「何度見てもお前さんは下手だよ」と言った。京右衛門は怒りを抑えたが、胸は納まらない。その晩、藤十郎の家へかけてゆき、「自分としては精一杯で、これ以上の工夫のこらしようがないが……」と頭をさげてたずねた。すると藤十郎は、「お前さんの芸は、どうにか出来ているが、いやしくも一座の頭となれば、出来るだけ相手役なり、下の役者を引きたてて、一人で場をさらってしまうような仕草は慎まねばならない。お前さんの相手役の四郎五郎は、今、売り出しの若手なのに、お前さんが先へ先へと出るので、彼は手の出しようがない。見物の喝采は、お前さんに集まっているが、それは真の喝采ではない。お前さんが自分を抑えて、相手役や若手の芸を引き立たせながら、見物から喝采を受けたら、それこそ本物なのだ。お前さんを下手だと言ったのは、その辺の心組みを言った訳だ」と答えた。京右衛門は、さすが名優だとその言葉に心から感銘し、以後、一層俳優の道に精進したということである。このことは、なにも芝居の世界に限ったことではなく、一般企業の中でも、同じことがいえる。

佐古亮尊(大村北RC)著:「道徳律について」より

### <わが職業奉仕>

ある少年が左官の職業に入ってから一年あまり、この春、定時制高校に通うようになって、今ようやく「君の将来は」と聞かれて「立派な左官になることです」と胸を張って答えられるようになった。そうはいっても、時々、つくづく嫌になることがある。「その理由は、僕の職場というより、むしろ左官業全体の職場生活に問題がある。セメントで荒れてヒビわれになった手足、皮膚にくいこんで洗っても洗っても落ちない壁材料の微粒子、職人たちの言葉使い、吹きさらしの現場、事業主の人使いの荒らさなど、数えたら矛盾だらけであり、これに対する不満はきりが無いほどある。こんな矛盾を覚え、不満が山ほどあるのに、僕は左官を立派に思い、立派な左官になろうと答えられ

るようになったのは、次の理由がある。

一口でいえば、僕の将来を、この矛盾や不満を感じている職場を、よりよい職場に変えてゆくことに役立てよう。そうすれば、自分も幸福になれるし、左官業で働く人たちがみんなが幸せになれる。また左官業というものを世間の人が高く見てくれるだろう……と考え、またそうなる見込みは充分だと思ふ。

事業主は、壁屋が学校へ行って何になるかとあざけり笑い、組んでやっている仕事の中を一人早く帰るのはけしからんと怒る。だが、仲間は、「もう時間だぞ、早く学校へゆけ」と励ましてくれる。それは、単に仲間の親切だけではない。仲間の人たちは「自分のできぬことをやってくれ」と言っているのだと思ふ。嫌だった職場も、今ではこの職業は立派な職だと思ふようになり、自分の努力で自分も仲間も幸福にし、職場も立派にしてみせようと覚悟を決めた。これが職業奉仕である。もっと正確に言えば、そういったロータリアンを育てることに真意がある。

齊木亀治郎(姫路RC)著:「信天翁(AHODORI)よちよち歩く」より

### <愛する人になりなさい>

ある母親が小学校に通っている息子に、いつも「愛される人になりなさい」と言っていた。ところが、その息子は学校で人気がない。むしろ、友達から嫌われている。それを知って、母親は、「お母さんは、いつもお前に、みんなから愛される人になりなさい」と言っているでしょ」と強く息子に言い聞かせた。それでも息子は嫌われ者になっている。

やがて、母親は、自分が根本的な間違いをしていることに気が付いた。そこで母親は息子に言い聞かせた。「愛する人になりなさい」。自分から人を愛することなく、人から愛されることばかり望んでいても、愛されるはずがありません。人に尽くすことを知らずに、人に尽くしてもらうことを求めても、無理な話です。まず人を愛する、まず人のために尽くす、それが大切なのです。

ヘルマン・ヘッセ(ドイツの文学者でノーベル文学賞受賞者)名言集より

まさに He profits most who serves best であると私は思います。(玉井)

### <東洋と西洋の奉仕観>

外来思想のロータリーが我々にもたらした一番大きな功績は、ボランティアという単に「困った人を助けてあげる」ことだと思っていたが、むしろ「助けられているのは自分」の方だという新しい価値観を積極的に我々に与えてくれたことです。

塚原房樹(札幌東RC)著:東は東、西は西より

以上、いかがでしたでしょうか? 何度も何度も読み返すと気づくことがいろいろあると思います。

# 米山記念奨学生・カウンセラーオリエンテーション 2018—2019年度米山記念奨学生歓迎会

2018年4月7日、京王プラザホテル札幌にてカウンセラー研修会、奨学生・カウンセラーオリエンテーション、米山記念奨学生の歓送会が開催されました。

## 【カウンセラー研修会】14:00～

研修会には15名のカウンセラーに参加いただきました。福田武男ガバナーノミニー、大槻継也地区米山担当幹事の参加のもと、大石清司米山記念奨学・学友委員長を講師として世話クラブとカウンセラーの役割、奨学生との関わり方等を解説しました。

## 【奨学生・カウンセラーオリエンテーション】15:15～

今年度は新規奨学生12名、継続奨学生5名で計17名となります。当日に新規奨学生とカウンセラーが初対面という方が多く、当初、奨学生は緊張気味でしたが、カウンセラーと会話を交わすことで緊張も解けていきました。福田武男ガバナーノミニー、大槻継也地区米山担当幹事の参加のもと、講師として本多宏行米山記念奨学・学友副委員長が、ロータリー米山記念奨学事業、世話ク

ラブ・カウンセラー制度、奨学生の役割、米山奨学生学友会等を解説しました。その後、新規奨学生から確約書にサインを頂き、カウンセラーから奨学生へバッジの授与が行われました。

その後、イスクレスク ミコラ（北広島）、ヒルダ アマリア（札幌清田）継続奨学生より1年間の体験談を語って頂き、継続カウンセラーである森 加名恵（札幌清田）会員、伏木 進（札幌東）会員から奨学生との関わり方について報告頂きました。

## 【米山記念奨学生歓迎会】17:00～

大石清司米山記念奨学・学友委員長の開会挨拶後、福田武男ガバナーノミニー、塚原房樹（財）米山記念奨学会理事より祝辞のお言葉を頂き、福井敬悟ガバナーノミニー・デジグネートの乾杯のご発声により祝宴となりました。祝宴では奨学生、カウンセラーの自己紹介、朴 炫珍米山学友会会長と米山学友の皆様から歓迎の言葉を頂き、終始笑みの絶えない和やかな雰囲気です。最後に大槻継也地区米山担当幹事よりご挨拶を頂き閉会となりました。



## 千歳ロータリークラブ

# 創立50周年記念式典・祝賀会

千歳ロータリークラブ(RC)は、札幌RCをスポンサークラブに1968(昭和43)年4月26日、22名の会員により創立総会を開き、同年6月20日付で国際ロータリー(RI)の認証を得て、道内70番目のRCとして誕生しました。これを記念し、4月20日に千歳のシャムロック・カントリークラブで記念ゴルフ大会、21日にANAクラウンプラザホテル千歳で50周年記念式典・祝賀会を開催しました。

千歳RCの会員数は1990年に120人に達した後、景気低迷などで減少に転じ、2012年には50名を割り込みましたが、ここから世代交代が進み、物故会員の後継者や千歳ローターアクトクラブOBなどの入会で増加に転じ、今年度が始まった昨年7月には7名が入会し、総勢70名で記念式典・祝賀会を迎えました。

千歳で50年にわたり、ロータリアンが研鑽を積み、奉仕活動をしてきた根底に、郷土・千歳への愛、家族や従業員、顧客への愛があるととらえ、瀧澤順久会長は今年度のクラブ方針を「あなたの愛を 地域へ 世界へ そして未来へ」と決定。記念事業は、まさにそれを具体化。千歳市内の医療施設や小中学校などに合わせて100台の車椅子を寄贈。それにより不要になった車椅子を修復し、タイなど海外へ会員が自ら運んで寄贈しました。未来に向けては、昨年12月に千歳市内3カ所の子育て支援センターに大型遊具を寄贈し、式典の前週4月13日に北ガス文化ホール(千歳市民文化センター)に前大阪府知事の橋下徹弁護士を講師に招いて「決断と実行～未来へ向けての針路」と題する記念講演会を開催、約1000人の聴衆が会場を埋めました。

式典・祝賀会にはRI第2510地区の国立金助ガバナー、スポンサークラブ札幌RCの相茶俊介会長はじめ留萌から函館、様似まで広い地区内の各RCから出席いただき、特に千歳を含む第7グループ6RCからは全員登録をいただきました。空路で結ばれた友好クラブ神戸南RC(RI第2680地区)からも10名が出席されました。

式典で千歳RC名誉会員でもある山口幸太郎千歳市長、国立ガバナー、札幌RC相茶会長、神戸南RC吉田福司会長が祝辞。相茶会長に瀧澤会長から感謝状を贈呈。50周年記念事業と80年計画の分収造林「千歳ロータリーの森林(もり)」を映像で紹介し、山口市長から感謝状を頂きました。分収造林組合長で95歳の現在もなお現役の丹治秀一会員には特別表彰として瀧澤会長から感謝状を手渡しました。

祝賀会は、千歳出身の世界的ギタリスト竹形貴之さんが演奏する「アルハンブラの想い出」で開幕、千歳RC会員の佐藤秀雄・元地区ガバナーの発声で乾杯。来賓、ロータリアンなど合わせて280名が50周年を祝い、交流を深めました。

瀧澤会長は謝辞で、創立50周年を機に会員一同さらに研さんし、より良い仕事を通じ地域社会、国際社会に貢献する奉仕活動の輪を広げる決意を表明しました。



国際ロータリー第2510地区第10・11グループ

## 『今こそ、カラダ考える』IM報告

IM運営幹事 石畑 弘 樹

(函館東RC)

2018年3月24日(土)、函館市の五島軒本店を会場として七飯ロータリークラブと函館東ロータリークラブが共同でホストを担い、第10・11グループ11クラブ全員364名登録、180名の参加で盛大に開催しました。

今年度IMテーマは「今こそ、カラダ考える」。ここ最近、若くして亡くなられたり、また急に体調を崩して入院するロータリアンが多く見受けられます。この事は国立ガバナーも大変懸念され、まず活動の基本は「健康あつてのロータリー」という意味でも、自分の健康や体調管理に過信がちなロータリアンにIMを通して自分の健康維持について再認識してもらう手がかりになればと思い企画開催しました。

講師に札幌真駒内ロータリークラブの丸山淳士パストガバナーを招き、「中高年からの健康」という演題でユーモア溢れる軽妙洒落な話術で長生きの秘訣や日頃の生活習慣のコツ

などお話しいただき、終始笑いが絶えない和やかな講演会となりました。

講演会終了後は、IMのもうひとつの目的である10・11グループすべてのクラブを結集した懇親会の開催です。滅多にない機会ですので、クラブの垣根を越えて忌憚のない意見や情報交換が出来たと思います。余興では函館五稜郭RCメンバーを中心に結成された「ザ・ペンタリアン」の懐かしいGSソングやオールディーズで大いに盛り上がりました。

また会場内でポリオ撲滅のための募金をお願いしたところ、7万3千円を越す多額の寄付を頂き、最後は全員で「手に手つないで」の大合唱で今年度IMを笑顔で締め括りました。この紙面をお借りし、今年度のIM開催にご協力頂いた各クラブ、そして会員の皆様、10・11グループRC合同事務所に感謝申し上げます。





## 国際ロータリー第2510地区

## 第3グループ インターシティミーティング報告

ガバナー補佐幹事 赤山 登

(岩見沢RC)

2018年3月31日(土)、岩見沢RCのホストにより、北海道グリーンランドホテル サンプラザに於いて、松野哲市長をご来賓にお招きし、第3グループのIMを開催いたしました。

2017-18年度 国立ガバナーの推進目標である「地区委員会と各クラブの連携強化」をテーマに、第3グループ8クラブより254名の登録を受け、二部構成で開催致しました。

第一部として、国立金助ガバナーに、「地区委員会と各クラブの連携強化」の基調講演を頂きました。

第二部は、第2510地区嵯峨義輝パストガバナー(第1ゾーン・ロータリー公共イメージコーディネーター補佐)にコーディネートをとお勤め頂き、パネラーとして、福田武男ガバナーノミニ、渡邊葉子地区クラブ支援委員長、西方洋昭地区青少年委員長、谷口正樹地区国際奉仕・VTT委員長によるパネルディスカッションが展開されました。

また、西方委員長、谷口委員長によるスライドショーによる具体的な活動内容報告を受けました。

地区のあらゆる委員会に各クラブ会員が所属する事により、クラブを越え、グループを越えた友好の輪が広がり相互交流が増すことにより共有情報量が増え、クラブ、そして会員個人のロータリーライフが今以上に輝きを増す事になるものと願っております。

第2510地区小山司ガバナーエレクトのご発声による乾杯で懇親会の幕があがりました。

終始和やかで朗らかなクラブを越えた交歓の時は瞬く間に過ぎ、芥川ソングリーダーによる手に手つないでの輪が会場いっぱいになり、第2510地区安孫子建雄パストガバナー(危機管理委員長)の一本締めで名残惜しく閉会となりました。

最後になりましたが、ロータリーに関わる全ての人たちのご健勝とご活躍をお祈りし報告といたします。



## 『ロータリーの奉仕…見守ろう、支え合おう地域と共に!』

2017-18年度 第2グループ インターシティミーティングテーマ

第2グループ ガバナー補佐 佐藤 正一郎

(砂川RC)

4月7日(土) 第2グループインターシティミーティングが、砂川市地域交流センターゆうにて、砂川RCの主管で開催されました。

ご来賓として、砂川市長 善岡雅文様、国立金助ガバナー、渡邊恭久パストガバナー、そして芦別・赤平・滝川・砂川の各クラブより128名の会員のご参集を戴きました。最初に佐藤正一郎ガバナー補佐より、主催者挨拶とご来賓、参加クラブの紹介があり、挨拶の中で、本年のIMのテーマ「見守ろう、支え合おう地域と共に!」の趣旨説明がありました。

次いで松原重俊砂川RC会長の歓迎の挨拶、国立金助ガバナーからご丁寧なるIM開催へのご祝辞を戴きました。その後、佐藤ガバナー補佐から次年度石黒ガバナー補佐のご紹介、石黒エレクトから次年度各クラブの会長・幹事の紹介と続きました。

ここで15分の休憩を挟み、認知症をより身近な問題と捉えていただく為にロータリーのメンバーだけでなく、一般聴衆の皆様にも講演を聴講いただきました。

基調講演は砂川市立病院認知症疾患医療センター長の内海久美子先生による「地域で見守る認知症～砂川モデルを全国へ～」のテーマでご講演戴きました。

内海先生には4年前の砂川クラブ主管IMでも講演して戴き、その中で紹介された「認知症患者とその家族が、認知症により生活苦に陥り、親子心中し、生き残った息子に対する裁判の様子」を話されました。その悲劇に

裁判長の温情ある判決で、執行猶予付の判決が下るとい実話が「エピソード」としてあります。

今回の講演では、その後の認知症の治療の進展、患者と家族を取り巻く環境整備の実態が紹介されました。

約1時間の講演に対し、佐藤ガバナー補佐から内海先生へ謝辞が述べられました。最後に国立ガバナーから本日のIMに対する講評を戴き、点鐘ののち閉会致しました。

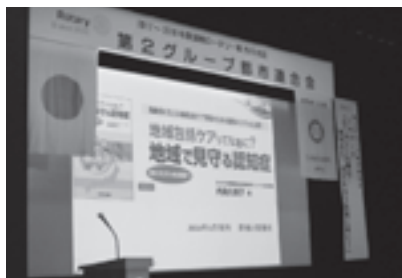
その後、砂川パークホテルへ会場を移し、瓜IM実行委員長よりお礼の挨拶、懇親会から出席された善岡市長、そして渡邊パストガバナーより、心温まる祝意のご挨拶を戴きました。

赤平RC松尾和俊会長による乾杯のご発声で懇親会が開宴されました。大過なくIMが終了したせいか、懇親会も和気あいあいの内に時間が進行いたしました。

懇親会も終了に近づき、次年度IM開催クラブの山口清悦会長から次年度に向けての力強いご挨拶、そして結びのご挨拶を芦別RC多田康司会長よりいただきました。

最後に「手に手つないで」を高らかに合唱し、お開きとなりました。

第2グループは決して多くの会員数ではありません。しかし、より知恵を出し、より地域の問題に真っ向から対処する事で、ロータリー運動の発展性を感じたインターシティミーティングでありました。



# 新入会員研修のサポートマニュアル

地区クラブ支援委員会

委員 原 口 康 洋

(札幌南RC)

地区クラブ支援委員会では、新入会員向けのマニュアルを作成し、各クラブでのオリエンテーションに役立てていただくよう準備を進めております。現在、新会員に対するオリエンテーションは各クラブに任されており、実施しているクラブもあれば、実施していないクラブもあります。また、独自のマニュアルを作成しているクラブもあれば、作成していないクラブもあります。実際にいくつかのクラブのマニュアルを拝見させていただきましたが、とてもしっかりと作成されており、是非、他のクラブでも作成すべきであると思われました。

ロータリーが目標として掲げている「会員増強」のためには、新会員のオリエンテーションやセミナーが大変重要であると考えられており、実施の有無は会員の定着率の差となって表れています。とはいえ、独自にマニュアルを作成することは、結構大変な作業です。昨年、当委員会が各クラブに対して実施したアンケートにおいても、「オリエンテーションをどのように行って良いか手探りの状態であり、地区の支援があると有難い」という意見をいただきました。また、先般行われた新会員合宿セミナーにおいても、参加者から、「新入会員オリエンテーションを標準化することによって定着率を上げる必要がある」等の意見が出されました。これらの意見に応えるべく、当委員会として、出来る限りサポートしていきたいと考えております。

あくまで私の経験上ですが、ロータリーに入会して戸惑ったのは、専門用語が多いこと、また国際ロータリー・地区・クラブの活動単位があって混乱してしまうことでした。IM、クラブ・アッセンブリー、ファイヤーサイドミーティング、PETS、インターアクト、ローターアクト、RYLA等々の耳慣れない言葉が日常的に使われていて、それがどういう活動で、自分はどう関わっていけば良いのかさっぱり見当が付きませんでした（例えば寄付金を払っても、それが一体どのようなものか理解できていなかったように思います。「〇〇会

員がマルチプル・ポール・ハリス・フェローとなりました」と聞いて「よくわからないけどすごい！」と拍手していました。

確かに、経験していけば、自ずと理解できることなのですが、「ロータリーの基本的な理念や目的」と「ロータリーのシステム」くらいはしておくこととして新会員に伝えるべきだと思いますし、それに加えて、各クラブの実態にあったマニュアルがあれば、新会員も安心して活動に参加できるはずです。

私はロータリー歴7年ですが、新会員の方に知っていただきたいことは、ロータリーは、国際的な組織でありながら、地域に密着した奉仕活動も行っていること、各々が職業に携わる中で奉仕の理念を実施していること、会員同士が切磋琢磨する自己研鑽の場となっていること、また、そのためには親睦活動が大変重要であり、それらの活動はとても楽しいものであることです。ロータリーの本来の楽しみを理解・経験する前に退会してしまうことは、大変もったいないことだと考えます。会員の定着率を向上させるためにも、まずは入会時にしっかりとオリエンテーションを実施し、例会に参加することの意義を理解するとともに、明確な目的を持って様々なロータリー活動に参加してもらう必要があります。まだ準備の段階ではありますが、いずれ各クラブにご提示できるよう頑張りたいと思います。

# 再考、職業奉仕

北海道医療大学

客員教授 **青木 功 喜**  
(札幌東RC)

ロータリーの職業奉仕は難しいと良く言われますが、当然です。一人一人の職業の倫理感は一律でなく、段階的に理想に近づいて行く過程が大切です。職業倫理の実践は、各職種により、その難易度に差があり、さらに総論と各論があるので、それらを混乱しない事が大切です。

総合的な将来の判断を迫られた場合、時には、誤り易いが、個人的な現在の事になると、意外と正確な判断を下す事が出来ます。職業奉仕はロータリーの金看板であり、職業奉仕のない奉仕はもはやロータリーではないと言う事も良く聞かれます。

私は現在の身近なレベルで奉仕を考え、それを積み重ねて行く過程を大切にしたいと思います。

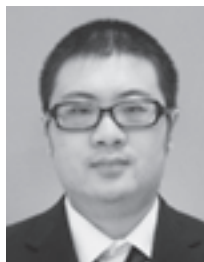
奉仕は自他を思いやる心に忠実であるべきであり、何も、ロータリアンでなければ、出来ないものではありません。同業種の間での競争のある現在の社会では、個々のゴールが必ずしも同じでなく、当然個人差が現れます。

個人と集団の捉え方は、欧米人と日本人の間では大きく異なります。自分らしく生きようと思えば、自他を認め合う寛容さが強く求められます。ロータリークラブには、自分を磨くため入会する人、世間で赤恥を欠かない程度の人間になろうとする人がいるなど、入会の動機は様々です。

欧米では、例会で寄付金箱を廻す事など考えられないですが、集団を優先する日本では良く行われます。欧米では各個人の考えが尊重され、自発的な高額寄付もよく見られます。日本では共同募金的な均一な少額の寄付が当たり前で、時には募金をしないと、赤恥をかかされる社会です。

ロータリーは国際組織であり、グローバリゼーションは当たり前で、世の中のために良い事をしようという判り易いスローガンに変わって来ています。これらの違いを我が国のロータリアンが如何に考えるかは、個人個人に委ねられているのではないのでしょうか。自分自身で考え、行動する人間らしい生き方を私はしたいと思います。

## 奨学生として感じたこと



**翟 泓 杰 (中国)**  
北海道大学・札幌RC

中国の山東省臨沂市出身。

2013年4月北海道大学情報科学研究科の修士課程に入学、2015年3月修了、現在同コースの博士課程に在籍しています。2017年4月からロータリー奨学金になりました。

多くの留学生の最初の悩みは言語の問題です。留学する前に勉強しても、やはり話せる程度にならないことが多く、日本人とコミュニケーションをとる際の壁になります。また、同じ研究室に複数留学生がいると、お互いにコミュニケーションしやすい留学生のみの「ローカルグループ」ができてしまいます。

留学生はローカルグループにいてだけで安心できる場合が多いですので、更に日本人とのコミュニケーション意欲が減ります。

私から見れば、ロータリー米山奨学金はローカルグループから抜け出すいい機会となります。例会に参加すると、色んな日本人の方とお話しができますので、日本人とのコミュニケーションの第一歩を踏み出せます。この経験がローカルグループの他の学生に伝わると、更に多くの留学生に影響を与えられます。

自分も、これからロータリー奨学生として、このような素晴らしさを広げたいと思っています。

## 新会員のご紹介

(敬称略)



新札幌RC  
本間 勝行  
3月7日入会  
電気通信工事業



静内RC  
木村 千晶  
3月28日入会  
スナック



伊達RC  
高橋 賢一  
4月3日入会  
電気製造業



岩見沢RC  
徳重 寛道  
4月5日入会  
臨済宗



函館RC  
関 利也  
4月5日入会  
菓子製造販売業

## 訃報

謹んでお悔やみ申し上げますとともに  
心からご冥福をお祈り致します



千歳セントラルRC

彦坂 忠人

2018年4月4日 ご逝去  
(享年69歳)

## 【ロータリー歴】

2008年7月入会

2010-2011年度 副会長

2011-2012年度 会長エレクト

2012-2013年度 第22代 会長

【表彰】 ポール・ハリス・フェロー(1回)

### 米山記念奨学会へのご協力に感謝申し上げます

#### 米山功労者

江別RC	笹浪 哲雄	会員 (3回)	3月19日	札幌南RC	列行シフト	副会長	(15回)	3月13日
江別西RC	石黒 良平	会員 (10回)	3月6日	札幌南RC	加藤 正雄	会員 (5回)	3月13日	
札幌東RC	野村 昭光	会員 (20回)	3月26日	浦河RC	蘇田 又栄	会員 (4回)	3月5日	
札幌清田RC	中島 永昭	会員 (2回)	3月22日	函館東RC	田中 治	会員 (2回)	3月8日	

#### 米山功労クラブ

札幌北RC	29回	3月20日
札幌東RC	47回	3月26日
札幌南RC	44回	3月13日

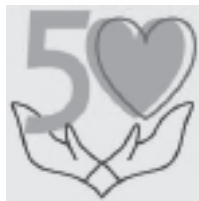
### ロータリー財団へのご協力に感謝申し上げます

#### マルチプル・ポール・ハリス・フェロー

留萌RC	二ノ宮清信	会員 (2回)	3月30日	伊達RC	黒野又四郎	会員 (2回)	3月9日
札幌南RC	網野 泰文	会員 (1回)	3月14日	函館RC	上條 博英	会員 (1回)	3月15日
札幌南RC	佐藤 嘉一	会員 (1回)	3月14日	函館RC	中澤 郁雄	会員 (2回)	3月15日
札幌南RC	澤田 隆一	会員 (2回)	3月14日	函館RC	額賀 康之	会員 (3回)	3月15日
伊達RC	伊藤 金蔵	会員 (2回)	3月9日	函館RC	富田 恒一	会員 (4回)	3月15日
伊達RC	小熊 啓司	会員 (2回)	3月9日	函館東RC	宮崎あけみ	会員 (4回)	3月14日

#### ポール・ハリス・フェロー

札幌南RC	荒井 竜一	会員	3月14日	伊達RC	望月 孝一	会員	3月9日
札幌南RC	舟本 秀男	会員	3月14日	伊達RC	小田 由三	会員	3月9日
札幌南RC	嶋津 博	会員	3月14日	北斗RC	新関 一夫	会員	3月22日
札幌南RC	山谷 英一	会員	2月14日				



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会マンスリーニュース

2018.4.12

# ハイライトよねやま Vol.217

## 第3代よねやま親善大使が決定!

「第3代よねやま親善大使」には36人の学友・奨学生から応募があり、広報委員会、常務理事会にて厳正なる選考の結果、下記3人の方に決定しました。任期は2018年7月から2年間で、日本全国でロ

ータリー米山記念奨学事業をPRします。地区行事でのスピーカーとしてぜひお声掛けください。親善大使に関するご連絡は当会事務局広報担当まで。

		
<p><b>エンフォルド, ボロルトヤ</b> (モンゴル/2010-12/米沢RC) モンゴル米山学友会創立理事。2016-17年度第3450地区ツェツェーグンRAC会長をつとめ、会長賞を受賞。在モンゴル日本国大使館勤務を経て再び来日し、現在はAI関連企業に勤務している。</p>	<p><b>アブデルアール, アハメド</b> (エジプト/2013-15/大東中央RC) 早稲田大学大学院博士課程在籍中。また、国際理解支援協会講師として、日本の子供たちへの異文化教育にも尽力。エジプト・アラブ文化を広めるイベントを企画するなど人集めに長けたアイデアマン。</p>	<p><b>李英愛 (イヨンエ)</b> (韓国/2002-05/札幌幌南RC) 北海学園大学非常勤講師。第2510地区と韓国第3700地区との通訳を10年間務め、日韓クラブの橋渡し役も多い。札幌ライラックロータリー衛星クラブ創立会員で、今年度幹事。第2510地区米山委員。</p>

## 2018学年度新奨学生オリエンテーションがスタート

2018学年度の奨学生は854人となりました。新規採用者602人、継続者252人(4月10日現在)、800人を超えるのは2012年以來のことです。国・地域別にみると、中国39.2%、ベトナム14.8%、韓国9.8%、マレーシア4.4%、台湾4.1%の順、また、プログラム別では、学部・修士・博士課程奨学金が788人(学部:299人、修士:280人、博士:209人)、地区奨励奨学金16人、クラブ支援奨学金12人、海外学友会推薦奨学金5人、海外応募者対象奨学金33人となっ

ています。

今月は各地区でオリエンテーションが開催されています(第2600地区のみ5月実施)。

オリエンテーションは、奨学生とカウンセラーが会い、奨学生としての義務やロータリーについて理解してもらう場です。研修を含めて1泊で行われる地区もあります。確約書に署名をした後、正式に米山奨学生となります。どうぞ温かくお迎えください。

## 寄付金速報 ～ 2017-18年度も残り3ヶ月～

3月までの寄付金は前年同期と比べて5.7%増(普通寄付金:0.6%増、特別寄付金:8.5%増)約6,500万円の増加となりました。

3月も好調に推移しており、皆様からの貴重なご寄付に深く感謝いたします。

今年度も残すところ3カ月弱となりました。これからは特別寄付金が主な寄付金収入となります。

引き続きご協力賜りますようお願い申し上げます。

記事の続き、および、その他の記事はぜひPDF版をご覧ください。

<http://www.rotary-yoneyama.or.jp/content/uploads/summary/highlight217.pdf.pdf>



公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3F / Tel: 03-3434-8681 Fax: 03-3578-8281  
編集担当: 野津・峯

[E-mail] [highlight@rotary-yoneyama.or.jp](mailto:highlight@rotary-yoneyama.or.jp) [URL] <http://www.rotary-yoneyama.or.jp/>

Rotary  
Zones 1 & 2 & 3



コーディネーター  
NEWS

2018年5月号

発行：Zones 1 & 2 & 3  
ロータリーコーディネーター  
ロータリー公共イメージコーディネーター  
第3ゾーン担当

### ■「時勢は人を作る(勝海舟:氷川清話)」

今年の国際協議会に出席されたガバナーエレクトの皆様には研修を終えられて新たな気持ちでガバナー一年度に備えておられるものと思います。

来年度のラシン会長のテーマは「インスピレーションになろう」であります。今年度のライズリー会長の「ロータリー:変化をもたらす」のテーマの延長線上のテーマではないでしょうか。しかし、インスピレーションをどのようにロータリアンに理解してもらうことができるかが難題であろうかと考えます。

私は「時勢は人を作る(勝海舟:氷川清話)」という言葉が、ラシン会長の意図するところではないかと考えます。ロータリアンがロータリーの意義を社会に理解してもらうために、若者を巻き込んで共に行動を起こすことが求められています。時勢を見失ってはなりません。

先日の日台親善会議に出席された方も多いと思いますが、台湾、韓国そして日本に見られる東洋的な考え方や欧米諸国の考え方に違いがあるように思われますが、目指す理念は同じであると思います。

国際ロータリー 理事 石黒慶一

### ■「地域社会を変える行動人」

「世界を変える行動人」について、皆様は昨年来RIから発信されてくる数多くのパンフや写真をご覧になっていらっしゃるかと思います。「世界を変える行動人ロータリアン」の様子を一般社会へ伝えることは、ロータリーの公共イメージ向上という観点から大事なことであります。

一方、各クラブと地区にとって重要なことは、ロータリアンがそれぞれの「地域社会」で世の為、人の為に日々活動していることを地元の人々に先ずよくご理解頂くことです。「世界を変える行動人」はその延長線上にあります。原点となる「地域社会を変える行動人」は皆様方のそれぞれのクラブや地区にいらっしゃいます。



来たれ学友中心の若者の集い  
東出東四国ロータリー衛星クラブ  
入会金1万円・年会費7万円  
衛星クラブ議長

3月末東京で開かれました「会員基盤向上セミナー」で「地域社会を変える行動人」のお一人として、四国地域を中心にカバーする「坂出東四国ロータリー衛星クラブ」

をこの度立ち上げられました2670地区直前ガバナーのARPIC前田直俊さんを紹介致しました。この新クラブは学友を中心に、現代社会の多様な入会候補者のニーズを汲み取ることが出来る会員構成で設立準備を進められました。

日本全体の会員純増率は、過去5年間のDataでは、ほぼ+/-ゼロに近い数字であり、40歳以下の会員数は僅か1%ほどです。今後の5年間は、会員の高齢化が更に進み、既存クラブでの純増は極めて難しい状況が続くと思われます。従いまして会員数の伸び余地が残されているのは、クラブ運営を多様化した「衛星クラブ」や「新型クラブ」ということになりそうです。その様なクラブが増えて行きますと、既存クラブの運営も次第に変化して行くのではないのでしょうか。日本では女性会員の入会が1989年に可能になってから30年近くが経過しやっと6%を占めるようになりました。

日本は変革に時間が掛かる国ですが、私達の工夫と努力次第で国際水準への到達は可能と前向きに捉えて行きましょう。

第3ゾーン ロータリー公共イメージコーディネーター 横山守雄

### ■「ロータリー活動の実働部隊はクラブ会員である」

言うまでもないことですが、ロータリー活動の具体的実働部隊はクラブの会員であり、その直接のリーダーがクラブ会長です。クラブの会長がやる気を起こさなければ、如何にRI会長やガバナーが旗を振ってもどうにもならないし、逆にクラブ会長がやる気になればかなりの計画が実現します。そして、クラブ会長は地区ガバナーのやる気の強弱を感じて行動してくれる可能性があります。従って、ロータリー活動を活性化するためには、ガバナーが如何にしてクラブ会長にやる気を起こさせるかだと思います。

そのガバナーを支援するのがRI会長であり、私たちRI国内委員団だろろうと思っています。ところが、例えば私は九州4地区担当のARCですが、私の所属する第2700地区の事情はある程度把握できているし、ガバナーに対しても具体的な支援が可能ですが、他の3地区については支援が限られます。そこで、今年度は主として自分の地区で会員増強に効果があるだろうと思われる方法について試行錯誤して、その効果を見て来年度からは他の3地区のガバナーにも具体的な方法で本格的に働きかけようと思っています。幸い今年度、第2700地区の安増ガバナーは5年間で会員を6%、つまり1年で1.2%の増強を目標にするという第一次5カ年計画を立てています。現在の会員増の勢いから見ると目標達成は簡単ではないと思われませんが、例年よりは多い会員増が期待され、6月末が待たれます。

話の次元は変わりますが、既存のクラブの会員増強も必要ですが、ロータリー活動の真の活性化には、従来型のクラブとは異なるクラブ運営に柔軟性を持った新しいタイプのクラブを新設して、奉仕の心と活発で実際の社会奉仕活動を好む若い世代の会員を増やすことが必要であり、このプロジェクトに取り組むリーダーを養成することが困難であるけれど極めて重要だと思います。女性に期待したいですね。

第3ゾーン ロータリーコーディネーター補佐 穴井元昭

# 地区カレンダー (5月・6月)

5月 青少年奉仕月間	
1 (火)	
2 (水)	
3 (木)	憲法記念日
4 (金)	みどりの日
5 (土)	こどもの日
6 (日)	
7 (月)	
8 (火)	
9 (水)	
10 (木)	
11 (金)	
12 (土)	長沼国際フェスティバル
13 (日)	
14 (月)	
15 (火)	
16 (水)	
17 (木)	
18 (金)	
19 (土)	第12グループIM (苫小牧)
20 (日)	第1グループIM (深川)
21 (月)	
22 (火)	
23 (水)	
24 (木)	
25 (金)	
26 (土)	RYLA セミナー (函館) ~ 27日
27 (日)	
28 (月)	
29 (火)	
30 (水)	
31 (木)	

6月 ロータリー親睦活動月間	
1 (金)	
2 (土)	第7グループIM (由仁) 蘭越 RC 創立 50 周年記念式典
3 (日)	
4 (月)	
5 (火)	
6 (水)	
7 (木)	
8 (金)	
9 (土)	RLI 体験セミナー
10 (日)	
11 (月)	
12 (火)	
13 (水)	
14 (木)	
15 (金)	
16 (土)	
17 (日)	現新地区委員長・ガバナー補佐合同 引継ぎ会議 (札幌)
18 (月)	
19 (火)	
20 (水)	
21 (木)	
22 (金)	
23 (土)	札幌モーニング RC 創立 30 周年記念式典
24 (日)	
25 (月)	
26 (火)	
27 (水)	
28 (木)	
29 (金)	
30 (土)	ローターアクト地区大会 (札幌) 2017-18 年度終了

2018年5月のロータリーレート

1ドル 108円



## 出席率・会員数

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2018.3.31	増	減	
1	深川	3	30	33	3	2	85.22
	羽幌	3	45	44	-1	2	80.29
	妹背牛	3	7	7	0	0	76.19
	留萌	3	34	35	1	3	79.83
	小計		116	119	3	7	80.38
2	赤平	3	29	29	0	2	69.33
	芦別	4	32	31	-1	2	72.40
	砂川	3	41	42	1	1	94.16
	滝川	5	87	95	8	4	69.20
	小計		189	197	8	9	76.27
	3	美唄	4	29	25	-4	0
江別		5	32	32	0	1	84.38
江別西		4	29	30	1	4	89.10
岩見沢		5	75	76	1	0	95.65
岩見沢東		3	19	19	0	2	76.47
栗沢		3	19	19	0	1	96.10
栗山		3	26	23	-3	4	100.00
当別		3	27	27	0	0	86.23
小計			256	251	-5	12	89.13
4	札幌	3	117	117	0	2	98.36
	札幌はまなす	3	21	18	-3	2	73.33
	札幌北	3	42	41	-1	4	90.35
	札幌モーニング	3	34	34	0	0	82.97
	札幌西	3	48	48	0	9	85.00
	札幌西北	4	34	34	0	3	85.70
	札幌手稲	5	39	40	1	4	90.44
	小計		335	332	-3	24	86.59
5	札幌東	4	132	126	-6	0	98.30
	札幌清田	2	13	12	-1	4	100.00
	札幌幌南	4	66	67	1	11	98.29
	札幌真駒内	3	23	24	1	6	100.00
	札幌南	3	85	88	3	1	98.75
	札幌大通公園	2	13	14	1	4	57.10
	新札幌	3	24	24	0	4	89.18
	小計		356	355	-1	30	91.66
6	岩内	4	21	21	0	1	69.04
	倶知安	3	40	39	-1	3	71.00
	小樽	4	73	75	2	4	83.51
	小樽南	4	67	65	-2	4	87.52
	小樽銭函	4	19	20	1	1	80.00
	蘭越	4	10	10	0	0	82.50
	余市	3	45	45	0	6	76.10
	小計		275	275	0	19	78.52

\*札幌幌南RCには札幌幌南ライラックロータリー衛星クラブの会員数12名(内女性会員6名)を含む

3  
月  
出  
席  
率  
:  
会  
員  
増  
減  
数

クラブ数	69クラブ
期首会員数	2,551人
当月末会員数(女性)	2,574人(164人)
増加会員数	23人
当月平均出席率	80.33%

グループ	クラブ名	例 会 数	会員数				出席率
			2017.7.1	2018.3.31	増	減	
7	千歳	3	63	70	7	7	81.42
	千歳セントラル	4	43	42	-1	8	70.24
	恵庭	3	48	50	2	3	74.63
	北広島	2	20	19	-1	0	71.88
	長沼	3	17	17	0	3	80.39
	由仁	2	7	7	0	0	57.14
	小計		198	205	7	21	72.62
8	えりも	2	16	17	1	1	100.00
	三石	3	12	13	1	0	70.00
	様似	3	18	18	0	1	82.41
	静内	3	69	69	0	5	86.66
	浦河	3	26	27	1	2	71.61
	小計		141	144	3	9	82.14
	9	伊達	3	60	64	4	1
室蘭		4	33	33	0	1	62.10
室蘭東		3	31	37	6	0	68.50
室蘭北		4	42	46	4	3	65.21
登別		3	28	26	-2	1	80.77
洞爺湖		2	10	10	0	0	70.00
小計			204	216	12	6	70.38
10	函館	4	76	75	-1	0	64.85
	函館亀田	3	40	43	3	4	71.43
	森	3	36	37	1	0	75.00
	七飯	4	12	12	0	0	75.00
	長万部	3	8	10	2	0	60.00
	函館セントラル	4	22	22	0	2	79.55
	小計		194	199	5	6	70.97
11	江差	2	11	11	0	1	81.82
	函館五稜郭	4	55	56	1	0	74.17
	函館東	4	45	44	-1	7	70.35
	函館北	3	20	17	-3	0	92.48
	北斗	5	13	12	-1	0	58.40
小計		144	140	-4	8	75.44	
12	白老	3	29	29	0	3	76.00
	苫小牧	4	55	57	2	3	78.76
	苫小牧東	4	29	28	-1	5	88.80
	苫小牧北	4	30	27	-3	2	90.53
	小計		143	141	-2	13	83.52
合計		2,551	2,574	23	164	80.33	

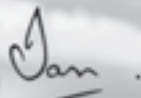
## 親愛なるロータリアンの皆さん

トロントで開催される第109回ロータリー国際大会で皆さんをお迎えすることを楽しみにしています。きっと、さまざまなインスピレーションを得られることでしょう。大会は世界中のロータリアンと出会い、アイデアを交換し、学びあえる素晴らしい機会です。多くの奉仕が実施された1年を祝い、次年度へのエネルギーを充電しましょう。

ビジネス、金融、芸術、文化のグローバルセンターとして、トロントは活気に満ち、親しみやすく、多様性に富んでいます。そう、ロータリーと同じです。トロントは、ロータリーでの経験と同じように誰もが楽しめるカナダ最大の都市です。美術館、博物館、レストラン、ショッピング、見事な建築物があり、カナダが誇る大自然にも、身近に触れることができます。

今年、ローターアクトは、50周年を迎えます。米国ノースカロライナ州で始まった小さな青少年プログラムがロータリー最大のプログラムの1つに成長し、全世界で9,500以上のクラブが291,000人を超える若者に奉仕、親善、成長の機会を提供しています。トロントで、ローターアクターと共に発展の軌跡を祝えることを楽しみにしています。

私たちは1年を通じてクラブで奉仕し、仲間がいること、つまり、世界中ほとんどの国で活動するグローバル組織の一員であることを認識します。国際大会は、120万人の会員を擁するロータリーの多様性を最も実感できる素晴らしい機会です。大会に参加して、一緒に変化をもたらしましょう！



2017-18年度RI会長  
イアン H.S. ライズリー

大会へのご登録: [riconvention.org](http://riconvention.org)

# 文庫通信

(367号)

「ロータリー文庫」は日本ロータリー50周年記念事業の一つとして1970年に創立された皆様の資料室です。  
ロータリー関係の貴重な文献や視聴覚資料など、約2万4千点を収集・整備し皆様のご利用に備えております。閲覧は  
勿論、電話や書信によるご相談、文献・資料の出版先のご紹介、絶版資料についてはコピーサービスも承ります。  
また、一部資料はホームページでPDFもご利用いただけます。  
クラブ事務所にはロータリー文庫の「資料目録」を備えてありますので、ご活用願います。  
以下資料のご紹介を致します。

## 文庫資料から(2)

◎「ロータリーを語る」	ロータリー復帰協議会 1948 45p
◎「奉仕こそ我がつとめ」	小林雅一訳 東京 R.C. 1956 143p
◎「そろばんと論語」	塚本義隆 1974 60p
◎「はげすずめ」	安野譲次 1974 139p
◎「ロータリーの心得」	ガイ・ガンデッカー著；田中毅訳 33p
◎「やさしいロータリーの話—間柄の美学—」	佐藤千壽 1984 27p
◎「The Meaning of Rotary ロータリー解析」	Vivian Carter著；田中毅訳 1999 99p
◎「ロータリーへの道(三訂版)」	ポール・ハリス著；柴田實訳 成田 R. C. 2011 372p
◎「『ロータリーの理想と友愛』 読本」	富田英壽編著 2016 274p

(上記申込先: ロータリー文庫)

## ロータリー文庫

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階  
TEL(03)3433-6456 FAX(03)3459-7506 <http://www.rotary-bunko.gr.jp>  
開館/午前10時~午後5時 休館/土・日・祝祭日

## 表紙の解説

函館は、1854年(安政元年)に締結した日米和親条約により、日本初の国際開港地となった歴史都市です。

そうした経緯もあって、函館市内には「日本で最初」、「北海道で最初」といわれる数多くの建造物や足跡などが現存しています。

月信では、そうした「最初」の数々の中から、13点を選出し、各月の表紙で紹介します。

表紙写真提供/函館中央図書館蔵

**Rotary**  
District 2510

